

地域経済循環創造事業交付金 交付決定事業 (一覧)

(金額単位:千円)

団体名			事業名	交付申請額	融資予定額	金融機関	課題	事業化	公益的効果
① 農業関連事業 5事業									
1	島根県	安来市	木質ペレットボイラー使用による高精度ミディマトの周年栽培と6次産業化による島根ブランドの構築	26,000	20,000	山陰合同銀行	<ul style="list-style-type: none"> 農業資材の高騰等による施設園芸における営農意欲低下 若者の農業離れによる担い手の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県中山間地域研究センターが開発した木質ペレットボイラーを商用として初めて導入 製造業者によるトマトのハウス栽培、出荷(地元木質ペレットを熱源として活用) 規格外品を活用して、市内障がい者福祉施設に加工委託し、トマトゼリー等を新商品化 	<ul style="list-style-type: none"> 農福商工連携による域内循環 森林の適切な保全管理の推進 雇用増(トマト生産)
2	福岡県	みやま市	おひさまの恵み地産地消6次加工品販売事業(地域コミュニティー創造事業)	42,000	42,000	筑邦銀行	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の拡大 地域コミュニティの希薄化 	<ul style="list-style-type: none"> 地元農産物とその加工品の販売、飲食等を提供するコミュニティ施設を整備 農家の加工品づくりニーズに対して、商品企画から販路提供までトータルにサポート エネルギーと食の地産地消を双方向から促進し、事業の相乗効果を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> 一次産品の高付加価値化 地域コミュニティの形成 雇用増(営業、販売)
3	福岡県	糸島市	未利用ガラス温室と洋ラン生産者の生産技術を活用した高付加価値なイチゴの生産および海外展開事業	6,500	6,500	福岡中央銀行	<ul style="list-style-type: none"> 洋ラン需要の低下により、温度管理設備が整ったガラス温室が余剰 イチゴを海外輸出するには「輸出時間・品質管理」に課題 	<ul style="list-style-type: none"> 未活用ガラス温室を活用したイチゴの生産(温度管理等の洋ラン生産技術を活かす) 輸出に耐えうる品質を保持するため、九州大学が開発した青果用の「光殺菌装置」を導入し、中東へ輸出 	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤の安定化 一次産品の高付加価値化 雇用増(イチゴ生産)
4	長崎県	島原市	島原発!島原の生薬による島原生薬本舗事業	24,000	11,000	十八銀行	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の拡大 薬草文化が根付いているものの、十分に事業化できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 生薬と地元の食材を組み合わせた薬膳を提供する店舗の開設 生薬を素材とした漢方薬や健康補助食品の製造、販売 カウンセリングを行い、一人一人の体質や健康状態に合わせたオーダーメイドの商品提供 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の活用 地域ブランド化 雇用増(製造)
5	熊本県	荒尾市	オリーブの加工(商品化)・販売までの一貫した事業(オリーブの搾油・商品化受託含む)	20,000	20,000	熊本銀行	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の拡大 市ではオリーブ栽培を推進しているが、地域に搾油所がないことが商用化の課題となっており、農家がオリーブ栽培の導入に躊躇する要因となっている 	<ul style="list-style-type: none"> オリーブ搾油機を導入し、地域農家が栽培するオリーブを加工し、オリーブオイルやハンドクリーム等の化粧品原料として出荷 オリーブの魅力を発信する拠点施設として、体験型オリーブ観光農園を併設 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の活用 地域ブランド化 雇用増(製造、営業)
② 観光関連事業 1事業									
6	京都府	京丹後市	地域資源を活用したおもてなし体験型観光事業 ~四季型集客を目指して~	50,000	73,800	京都北都信金	<ul style="list-style-type: none"> 観光宿泊客の減少、旅館業廃業の増加 地域産物の都市部への流通ルートが確立されておらず、廉価販売(漁業従事者の所得低迷の要因) 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の海水浴、冬のカニが主力であった「二季型集客」を「四季型集客」に改善 シルバー世代が求めるプライベートツーリズムに対応した新規宿泊施設の整備 外国人観光客の誘客に向けて、漁業関係者との連携による漁業体験等の新たなアクティビティの組み込み 	<ul style="list-style-type: none"> 交流人口の増加 流通ルート開拓による漁業経営の安定化 雇用増(営業)

合計 168,500 173,300